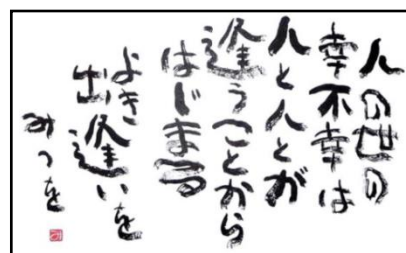


# 梅桜桃李

「生まれ出ようとする鳥は、自らをとりまく一つの世界を破壊しなければならぬ」ヘルマン・ヘッセの言葉である。自ら殻を破り、翼を広げて飛び立つ鳥のように、決然と歩みを定めるべくその時に向けて、さあ現在ここで何ができるか——。世界中が、君を待っている。

## 入学・進級おめでとう！

新入生の皆さん、ようこそ福島高校へ。2・3年生の皆さん、ようこそ新しい舞台へ。よく知っている人もいれば、まったく話したことがない人ばかりかもしれません。この学び舎で過ごす新しい仲間、皆さん一人一人が期待と不安の両方を抱えているかと思います。



**でも、大丈夫！きっと、有意義な日々を過ごすことができるので安心して下さい。**

進路指導部では、皆さんが3月1日の卒業式の日、「福島高校でよかった」「3年間いろいろあったけど、楽しかった」と思えるように、様々な行事を企画・運営していきたいと考えています。皆さんと一緒に、よりよい学校生活の一ページを綴っていければと思います。

### 『進路指導部通心』の発行にあたって

ところで、そもそも“進路指導部”って、一体何をしている部署なのか？と思う人もいるでしょう。進路指導部という存在が、どういう思いで皆さんの学校生活に関わろうとしているのかわからないことには、何も始まらないだろうと思うのです。ゆえに、これは一般的な通信ではなく、“通心”なのです。皆さんと「心が通うもの」にしたいので、敢えてそう呼びます。発行の目的は、次の2つです。

#### ① 福高生に有益となる様々な進路情報の提供や、進路行事の告知や事後の振り返りに生かすため。

高校生である皆さんは、自分で自分の進むべき道を決めることが求められます。とは言え、いざ決めようと思っても、一体自分がどこに進むべきかなんて考えられない、という気持ちになることもあるでしょう。

そんな時に、この通心に書かれている内容が少しでも皆さんの“道標”として生きてくればという思いで綴りたいと考えました。



#### ② 生徒・保護者・学校をつなぐきっかけをつくるため。

高校生ともなると、学校での出来事を1から10まで何もかも家で話すということは、まずあり得ないでしょう。もちろん、話せたとしたら、それはそれでいいと思いますが、すべてを話さないことも、ある意味では健全なことです。そのため、生徒の皆さんだけでなく、保護者の方にも繰り返して読んでもらえるように、文字として学校生活の一端である進路行事の様子やそこで生まれた様々な思いや考えなどを伝えられるよう、心を込めて綴りたいと思います。是非、ご家庭でも活用いただければ幸いです。

### タイトルは、“<sup>ばいおうとうり</sup>梅桜桃李”

本来は「桜梅桃李」という言葉なのですが、ここは福島高校ですから、やはり“梅”を最初にもってこようと、敢えてもとの言葉の順序を変えました。この言葉は、桜・梅・桃・<sup>すもも</sup>李が、それぞれ独自の美しい花を咲かせるように、「他人と自分を比べることなく、個性を磨こう」という教訓を含んでいます。鎌倉時代に編纂された『古今著聞集』の『草木』の項に「春は桜梅桃李の花あり、秋は紅蘭紫菊の花あり、皆これ錦<sup>きんしゅう</sup>繡の色、酷<sup>こくれつ</sup>烈の匂なり」とあるのが語源とされます。

皆さんの進路選択には様々な可能性がありますし、皆さん一人一人が多様な選択をすることでしょう。むしろ、そうあるべきとも言えます。しかもそれは、桜梅桃李が実る時期がそれぞれに異なるように、個々の「進路実現」にかかる適当な時間もまた、一人一人違ってくるでしょうし、それでいいのです。

「変化の激しい時代」「正解のない問いに直面する時代」、そんな時代の形容をよく聞く今、皆さんはどんなことに思いを馳せ、どのように自分(たち)の“豊かな生活”を実現しようとするのでしょうか。皆さんが生きる未来は、今の「意外」や「非常識」が「当たり前」になる時代でしょう。だからこそ、様々な発想や特徴を持つ多様な人と人のつながりこそが、世の中をつくる上で重要になってくるのです。どうぞ一人一人が自分らしい進路選択・進路実現ができるよう、進路指導部として応援していこうと思いますので、不定期更新にはなりますが、この通心を読んでみてもらえたらと思います。

## 【進路指導部の先生】

渡邊 優輔(部長)：3年世界史B・2年公共を担当。山岳部顧問。

酒井 由紀子先生(副部長)：3年英語を担当。写真部顧問。

梅澤 和樹先生：1・2年数学を担当。男子バレーボール部顧問。

小針 淳先生：2年化学を担当。野球部・SS部顧問。

佐久間 明子先生：2・3年英語を担当。テニス部顧問。

高橋 純子先生：2・3年古文・漢文を担当。将棋部顧問。

野村 恵美子先生：3年数学を担当。女子バレーボール部顧問。

今年度は、この7人が  
進路指導室(1棟2階)  
に常駐しています。何  
かあれば、いつでも気  
軽に訪ねてください。

## 【今後の予定】

4月12日(水) R-CAP(適性検査)：1年生の皆さんの文理選択の参考に実施します。

進路希望調査：全学年対象

22日(土) 進路探究講演会：3学年生徒・保護者対象

5月 1日(月) 文理選択ガイダンス：1学年対象

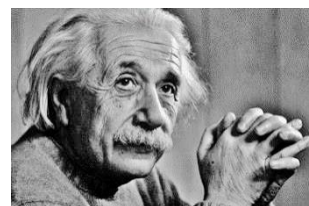
## 13日(土) 第96回東京大学「五月祭」

◆ 今年度は4年ぶりに、大型バスで本郷キャンパスに駆けつけます！！

※ “日帰り弾丸ツアー”の詳細が決まり次第、参加者を募ります。

## 「何かを学ぶには、体験以上の方法はない」

… アルベルト・アインシュタイン(右写真)の言葉



かの天才科学者でさえ、このように述べています。「百聞は一見に如かず」という言い古された金言もあります。この2つの言葉に共通するのは、自分自身の実践(Do)が伴っているという点でしょう。

今年度は東大の「五月祭」が対面とオンラインの両方でのハイブリット方式で開催することが決まりました。本校では、コロナ前に行っていたように、主に1年生を中心に「バスツアー」を企画しています。また、7月には東北大学も対面でのオープンキャンパスを再開するとのことなので、こちらも例年通りに大型バスで乗り込もうと考えています。

この3年間、コロナ禍の影響で縮小傾向にあった対面での様々な行事が、今年度はいよいよ、元通りの形で開催される公算が大きい状況になってきています。皆さんには是非とも、そうした“チャンス”を自分からどんどん掴みとってほしいと思います。